

公表	事業所における自己評価総括表		
----	----------------	--	--

○事業所名	PARC(パルク)あしゃ			
○保護者評価実施期間	2025年10月1日 ~ 2025年11月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35名	(回答者数)	18名
○従業者評価実施期間	2025年12月15日 ~ 2025年12月15日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年12月20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童の主体性を尊重し、安心して長く通うことのできる居場所となっていること。	子ども達の興味や意欲のある活動を実現できるよう、特性や性格、年齢等に応じた支援を取り入れている。	現在の取り組みを継続しながら、職員からの提案の幅を増やしたり玩具・遊具を充実させたりしていく。
2	保護者とのコミュニケーションを密に図り、子どもと家族両者の思いを相談援助や療育内容に反映している。	子育てや発達支援に関連することだけでなく幅広いコミュニケーションを図ることで、話しやすい関係性づくり、雰囲気づくりに努めている。 保護者同伴での利用であるため、相談支援の機会を十分に確保することができている。	引き続き密なコミュニケーションを図りながら、相談支援の内容についても職員間できめ細かく共有していく。
3	活動の選択肢が広がるよう、様々なツールを揃えていること。また活動内容や利用児のコンディションに応じて柔軟に療育スペースの環境調整ができること。	季節の行事だけでなく、子どもたちの興味関心や流行などを反映したイベントを実施するようにしている。 運動や制作活動、生活習慣など幅広い経験ができるようイベントを組んでいる。	今後も選択肢の幅が広がり、子どもたちが様々な経験を積めるようなイベントを実施していく。 子どもたちや保護者の意見も募り、イベントに繋げていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	新規利用の受け入れができない状態が長期間続いていること。	長期間継続して利用できる事業所となっているため。 学校終業後に利用できるような時間帯の枠が少ないため。	地域の他の事業所などとも連携を図り、支援を必要としている人にサービスが届くようにしていく。
2	利用児の主体性を尊重する一方で、指導員から活動の選択肢を充分に提示できていないことがある。	予め組まれたプログラムを提供するのではなく、子ども自身の主体的な活動選択と自己決定を大切にしているため。	事例検討やケース会議の機会を増やし、活動の固定化が見られる子どもに対しては新たな活動の提案の仕方について検討していく。 子どもたちが興味を持って取り組めるような提案・提示となるよう工夫していく。
3	利用時間が短いため、子どもの選択する活動やペースによっては時間が足りないことがある。	個別療育であり、サービス提供時間が短いため。	職員間、保護者との間で予定を共有し、子どもに対しても見通しを持って行動できるよう予定や時間を伝えていく。